

□ まちの「つながり」プロジェクト (地域コミュニティとソーシャル・インクルージョンによるアプローチ)

高齢の戸建居住の世帯が多く、地域コミュニティ及び連携意識の高いエリアに着目。空き家の「予防」という観点から、大学・地域住民・社会福祉協議会などと連携し、住民がその地域に愛着を持って長く住み続けるための空き家・空きスペースの利活用に関する啓発活動を通じ、ソーシャル・インクルージョン（社会の構成員として包み支えあう）の観点による有効な拠点づくり、利活用の提案による「空き家をリソースにしたまちづくり」のプラットフォーム構築を目指す。

■ 概要

区市町村名	調布市
まちづくりプロデューサー	高橋大輔氏（共立女子大学教授） 菅原大輔氏（建築家）
行政の関わり	調布市がまちづくりプロデューサーを任命。専門家による企画の連携支援を通じ、地域住民との対話による協働事業を推進。
連携先	調布市社会福祉協議会、地区協議会、地域の居場所を考える会など。
対象エリア	富士見町エリア

■ 本年度の成果

- ・毎月開催の講演&トークイベント
⇒ゲストを招いた講演&トークイベント、子供向けワークショップには累計100名を超える参加者が集まった。他自治体の成功事例等を紹介することで、市内の空き家所有者や活用希望者の機運醸成につなげた。



トークイベントの様子



子供向けワークショップ「窓と風景」

■ 本年度の取組内容

- ・講演・トークイベント（機運醸成）
- ・空き家利活用ワークショップ企画・開催
- ・プロジェクト活動の情報発信（Web・冊子・報告会）

ソーシャル・インクルージョン的
視点からのアプローチ



- ・プロジェクト活動の情報発信
⇒2020活動記録冊子「空き家とまちのつながり」を発行。
⇒トークイベント「エリアビジョンと3か年の事業構想」を開催し、エリアビジョンの要素である今後の活動方針を定めた。

冊子「空き家とまちのつながり」

